

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

49

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴					有
事務事業名	学力向上に向けた教育の推進						
予算科目	10 款 1 項 3 目						
予算事業名	教育振興一般経費						
総合計画での位置づけ	健全な子どもを育てる						
担当課	教育委員会	担当課長	森 裕子				
事業担当者	今田 雅弘	一次評価者	江上 智恵				
事業の性格	自治事務						
法令根拠等							
事業の対象	久山町内全教職員、小中学校児童生徒、教員、保護者						
事業の目的	久山町の子どもたちの学力及び保護者の家庭学習による学習習慣への意識を向上させることを目的とする。その手段のひとつとして、ICT環境を整備することにより、子どもたちの学習への興味・関心を高め、アクティブラーニングを実現させ、確かな学力の育成へつなげる。また、学校のwi-fi環境を整備することにより災害時の避難所としての活用につながる。						
実施期間	開始年度	平成 25 年度から					
	終了年度	令和 年度まで					
事業の内容	町内全教職員（幼稚園、小中学校）の教職員が一堂に会した上で研修を開催し、縦と横の連携を図り、共通理解を深め一貫した教育を行う。 学校施設のwi-fi環境の整備、児童・生徒へのタブレット配布、1教室1台電子黒板設置することで、ICT教育の推進を図る。						
目的達成の指標	全国学力テストの全国平均より3ポイント以上高かった年を○とする。						
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度	
	目 標		小○、中○	小○、中○	小○、中○	小○、中○	
実 績		小×、中○	小○、中○	※新型コロナウイルスの為中止			
指標設定の考え方	子どもの学力定着度をもって成果とする。（全国学力テスト 小6、中3で毎年実施）						
事業遂行時懸案事項等	○教職員の全員研修は、参加率アップとなるよう、日程設定を行う。 ○総務省のWi-Fi環境整備補助金があるものの、災害時の避難所としての整備のための補助金のため教育のためには補助金が申請できない。						
事業実施時懸案事項対応等	○ICT整備については、文科省の補助金の存在の有無、県補助金の有効活用のために県と協議中						

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 865 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.58	0.58	0.58	0.58
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	4,263	4,381	4,139	4,139
事業費	直接事業費	3,365	3,374	1,600	13,510
	人件費	4,263	4,381	4,263	4,139
	合 計	7,628	7,755	5,863	17,649
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,628	7,755	5,863	17,649
合 計	7,628	7,755	5,863	17,649	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	3,365	3,374	1,600	13,510	
実 績	440	3,374			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
教職員全員研修会	回	2	2	2	2
		1	1		
学力向上に関わる教職員研修	回	10	3	3	3
		10	3		
学力分析テスト	回	1	1	1	1
		1	1		
久山中学校電子黒板購入	台	1	3	0	0
		1	3		
電子黒板用パソコン購入	台	1	0	2	2
		1	0		
両小学校電子黒板購入	台	0	4	2	2
		0	4		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 887 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.58	0.58	0.58	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費			0	
	人件費(①×②-③)	4,168	4,381	4,576	
事業費	直接事業費	440	3,374	3,374	
	人件費	4,168	4,381	4,576	
	合 計	4,608	7,755	7,950	
財源内訳	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		0		
	一般財源	4,608	7,755	7,950	
合 計	4,608	7,755	7,950		

実施備忘録

H31 両小学校電子黒板
H32 小中学校タブレット導入

自己評価	評価者	今田 雅弘
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	2	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	2	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

<p>①学力については、平成31年(令和元)度全国学力・学習状況調査の結果において、小中学校ともに、県平均、全国平均を上回る結果となった。小中学校も学力向上の成果が見られる。</p> <p>②体力については、小学校、中学校とも一部の項目を除いて県平均、全国平均を上回っている。一定の成果は見られる。</p> <p>③幼小中での目的を一つにして、12年間の連続的なカリキュラムマネジメントを図る上で、教職員同士が交流する研修が活性化し、内容のあるものとなった。共通した取組や、各校種間での取組を各園・学校で実施したことにより、町内の子どもたちが校種間でのギャップを感じる児童生徒の減少が図られた。新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業により、年度末の引き継ぎ等が課題として残る。</p> <p>④来年度からの教育指導要領改訂によりICT教育の充実が組み込まれている。学校教育において重点的に進めていかなければならない事業である。臨時休業の長期化によるGIGAスクール構想の加速で、教職員や児童生徒の技能やモラル等の教育を充実させていきたい。</p>

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

<p>①学力、体力ともに一定の成果が見られる。今後は、どの児童生徒も学力を保障する、また特別支援教育の視点での仕組みや方法をさらに検討する必要がある。</p> <p>②本町教育の特徴である英語教育を含む次期学習指導要領の実施に向けた具体的な研修を充実させる必要がある。今年度は授業研修により、外国語担当者レベルで、目ざすべき資質・能力や授業方法などを学び合うことができた。グローバル人材を育成する上で、外国語に意欲をもって取り組むような授業展開を工夫する必要がある。</p> <p>③今後ICT教育推進計画を前倒しし、一人1台端末を揃える。また、教職員の研修の充実を図る必要がある。</p>

一次評価	評価者	江上 智恵
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

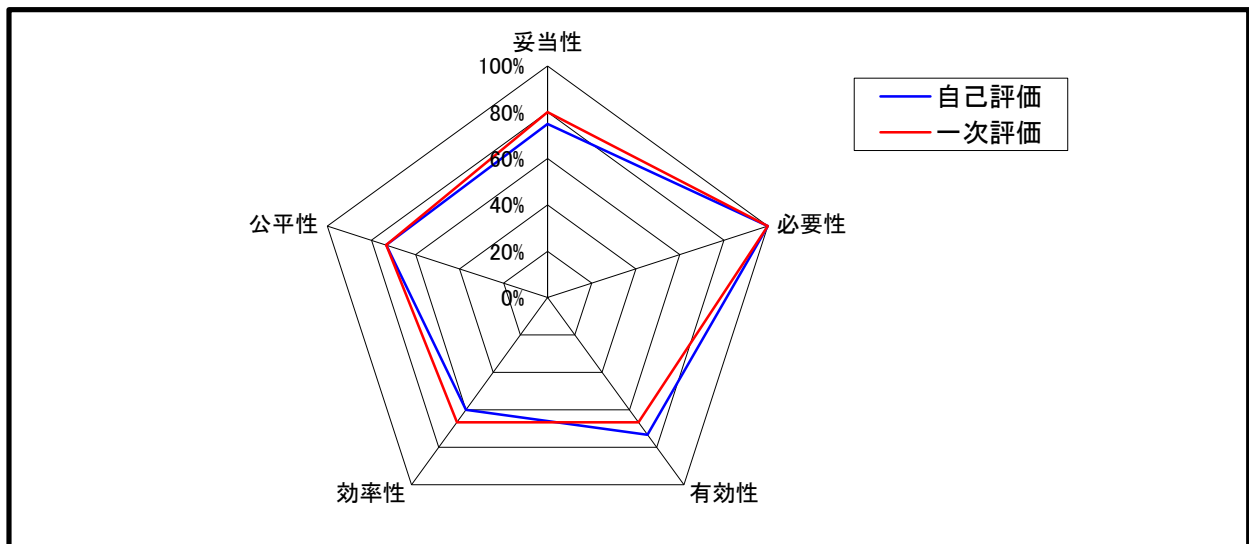
今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

全国学力テスト、体力テストの結果から本町の児童・生徒の学力や体力が一定水準以上であり、これまで進めてきた教育方針に一定の評価ができる。しかしながら、特別支援教育の仕組みや方法を再検討する必要がある。

今後は、本町教育の特徴である英語教育を含む具体的な研修を充実させる必要があり、さらに外国語担当教諭の会議によって各校の取組の共通理解を図ることやグローバル人材育成教育を進める上で、外国語に意欲をもって取り組むような授業展開を工夫することがあげられる。さらには、コロナウイルス感染症対策による休校など、非常事態において学習を保障するためのICT教育推進計画を推進し、ハード部門及びソフト部門の整備を行い、学習の方法などについてもICTを駆使した方法の検討を行っていかなければならない。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価

評価者

森 裕子

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

学力・体力において一定の成果は見られるが更なる向上を目指し事業計画を立て事業を進める。
ICT化においては国の動向に注意して推進計画を立て整備を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)